

2022年（令和4年）1月29日開催

宝塚市議会報告会

決算特別委員会報告

<2020年度（令和2年度）決算>

報告者：決算特別委員会委員長 大島 淡紅子

令和2年度決算総括表

(単位:千円)

会計	区分	歳入決算額	歳出決算額	形式収支	翌年度に繰越すべき財源	R2実質収支	R元実質収支	単年度収支	地方債残高	基金残高
		(a)	(b)	(c)=(a)-(b)	(d)	(e)=(c)-(d)	(f)	(g)=(e)-(f)		
一般会計		105,591,590	103,614,796	1,976,794	463,404	1,513,390	500,653	1,012,737	70,772,723	10,792,954
特別会計	国民健康保険事業費	22,648,117	22,054,257	593,860	0	593,860	464,172	129,688	0	1,103,169
	国民健康保険診療施設費	107,178	107,178	0	0	0	0	0	0	0
	介護保険事業費	21,496,941	20,727,520	769,421	0	769,421	405,066	364,355	0	1,839,653
	後期高齢者医療事業費	4,595,200	4,446,683	148,517	0	148,517	135,716	12,801	0	0
	財産区	286,305	212,044	74,261	0	74,261	35,423	38,838	0	0
	宝塚市営霊園事業費	190,894	190,894	0	0	0	0	0	1,826,390	483,009
	合計	49,324,635	47,738,576	1,586,059	0	1,586,059	1,040,377	545,682	1,826,390	3,425,831
一般・特別会計合計		154,916,225	151,353,372	3,562,853	463,404	3,099,449	1,541,030	1,558,419	72,599,113	14,218,785

<形式収支>

歳入決算額から歳出決算額を単純に差し引いた額

<実質収支>

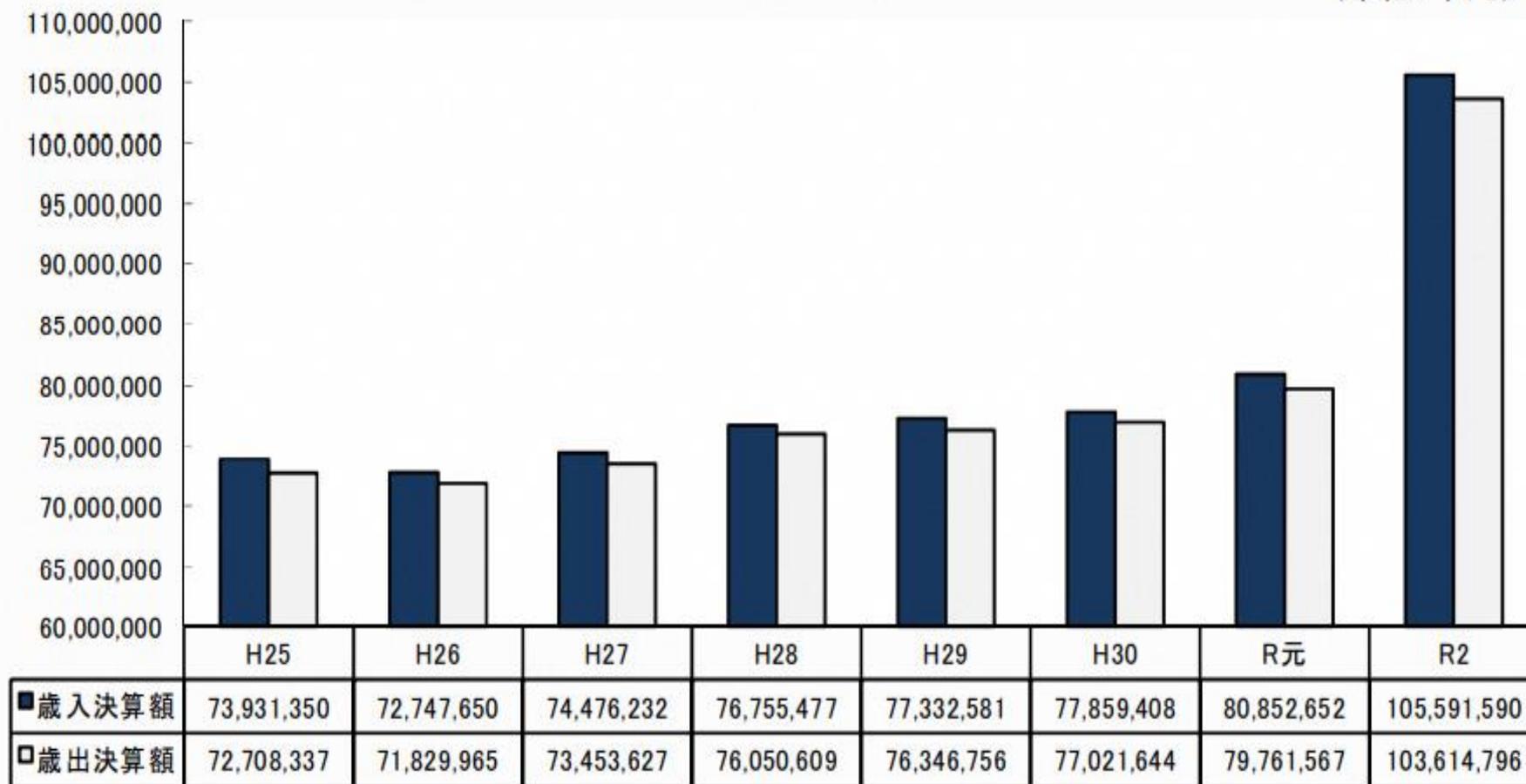
歳入歳出の差引額(形式収支)から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した額

<単年度収支>

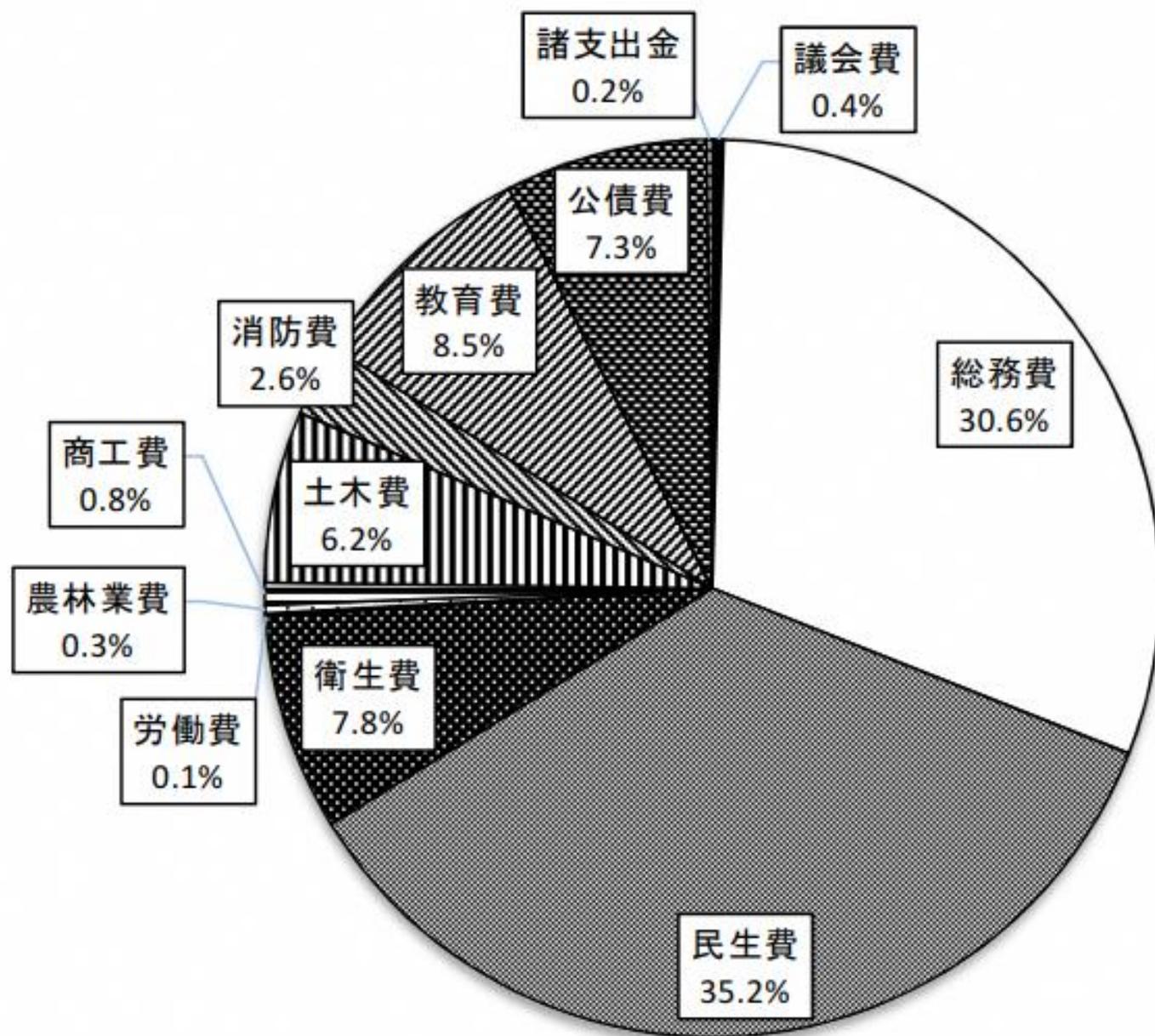
当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額

一般会計歳入歳出決算額の推移

(単位:千円)



歳出目的別構成比





I これからの都市経営

新庁舎・ひろば整備事業

～NTN陶宝塚製作所跡地に整備予定の新庁舎について、基本設計を完了し、実施設計に着手しました。
また、河川側ひろば及び阪神健康交流センター側ひろばの造成工事を実施し、一部工事を完了しました。～

232,311千円



総合窓口化推進事業

～市民の方が亡くなった場合、ご遺族がその手続きを行う必要がありますが、「何をしたらいいかわからない」といった不安を感じる方は少なくありません。そこで必要となる手続きについての総合案内や関連する申請書の一括印刷を行う「おくやみ手続き案内コーナー」を設置するとともに、WEB上で簡単な質問に答えることで、必要な手続きの案内を受けることが出来る「手続きガイド」を導入することで、ご遺族の方の負担軽減に努めました。～

1,900千円

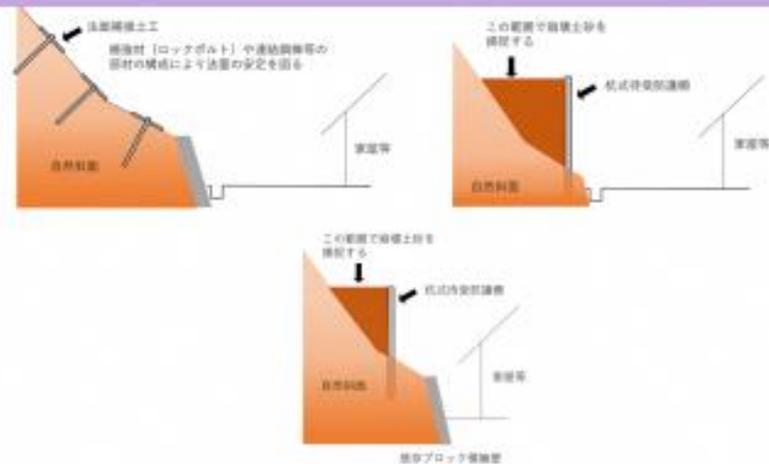


Ⅱ 安全・都市基盤

急傾斜地対策事業（公園維持管理事業）

～土砂災害特別警戒区域に指定された市所有地について、災害の危険度や影響度などを勘案し、優先順位の高い箇所から順に安全対策に取り組みました。中山台1丁目において対策工事に着手したほか、中山桜台4丁目において対策工事にかかる詳細設計を実施しました。～

103,110千円



市道宝塚池田線道路改良事業（道路維持事業）

～朝・夕方、慢性的に渋滞が発生している金井町地内の交差点において、尼崎方向へ右折するレーンを延伸する道路改良工事を行いました。～

4,319千円



花のみち舗装リニューアル事業（道路維持事業）

～訪れた方々をもてなし、文化芸術センターへ誘うときめきと憩いの空間として花のみちの環境改善を図りました。平成30年度（2018年度）に行った設計をもとに、令和元年度（2019年度）に引き続き、老朽化した歩道舗装や付属施設等の更新を行いました。～

20,833千円



防災情報システム整備事業（防災情報システム管理事業）

～南海トラフ地震や武庫川の氾濫などの大規模災害が発生した場合に、一人でも多くの市民の命を守り、早期の市民の生活再建を図るためのシステムを導入しました。今後、迅速な災害対応業務を目指します。～

91,746千円



消防車両整備事業

～使用開始から20年が経過した消防はしご自動車を、35m級の先端屈折式はしご自動車に更新整備しました。～

263,902千円



Ⅲ 健康・福祉

特別定額給付金給付事業

～「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」の趣旨を踏まえ、感染拡大防止に留意しつつ、簡素な仕組みで迅速かつ的確に家計への支援を行うため、令和2年（2020年）4月27日時点で市内に在住されている方を対象として、申請のあった世帯に対し、1人10万円の特別定額給付金を給付しました。～

23,514,345千円



新型コロナウイルスワクチン接種事業

～宝塚市新型コロナウイルスワクチン接種実施計画を策定し、65歳以上の高齢者用クーポン券（接種券）の作成、集団接種会場の確保、宝塚市医師会を通じて個別接種を行う医療機関の確保を進めるとともに、コールセンターを設置するなど接種体制の構築に取り組みました。～

39,869千円



産後ケア事業（母子保健相談指導事業）

～体調不良等で育児負担の大きい産婦に対し、助産師が対象者の自宅等において、心身のケアや育児のサポートを提供し、安心して妊娠・出産・育児に臨める仕組の充実を図りました。～

1,538千円



病院事業会計補助金

～新型コロナウイルス感染症対応として、帰国者・接触者外来の設置や医療従事者への防疫手当の支払い、患者数の減に伴う減収に対する経営の支援等として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、市立病院の経営を支援しました。～

609,546千円



IV 教育・子ども・人権

法律相談等委託事業（母子等福祉総務事業）

～ひとり親家庭及び離婚を考えている子育て家庭における養育費や財産分与といった経済的な問題及び、面会交流、親権といった子どもとの関わり方等の様々な問題の解決を支援するため、法律相談等委託事業を実施しました。～

297千円



子育て世帯臨時特別給付金給付事業

～新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援することを目的として令和2年（2020年）3月31日までに生まれた児童を養育している児童手当受給者（特例給付受給者を除く）を対象に児童1人につき、臨時特別給付金1万円を支給しました。～

285,172千円



ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業

～新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯を支援するため、令和2年（2020年）6月分の児童扶養手当の支給を受けている方、公的年金を受給し、児童扶養手当を申請しても支給が全額停止になる方、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、直近の収入が児童扶養手当を受給している方と同じ水準になっている方を対象者として、臨時特別給付金を支給しました。

～

192,785千円



V 環境

新ごみ処理施設整備事業

～新ごみ処理施設の整備では、生活環境影響調査や施設基本設計を進め、これをもとにプラントメーカーから見積設計図書を徴収し、要求水準書を作成しました。これらを踏まえて事業者選定に着手し、令和4年度（2022年度）には決定する予定です。～

24,750千円



VI 観光・文化・産業

文化芸術センター・庭園管理運営事業

～新たな宝塚文化の創造と市民交流の場として、令和2年（2020年）6月1日にオープンした文化芸術センターの管理運営を行いました。～

133,440千円



新型コロナウイルス感染症対策市内事業者支援事業

～新型コロナウイルス感染症により影響を受けた市内事業者を支援するため、事業所等の資料補助、新たな業態にチャレンジする事業者への補助、キャッシュレスポイント還元事業を実施したほか、県との協調事業として、休業要請に応じた事業者に対する支援金及び時短要請に応じた事業者に対する協力金の支給、商店街お買物券・ポイントシール事業を実施しました。～

384,536千円



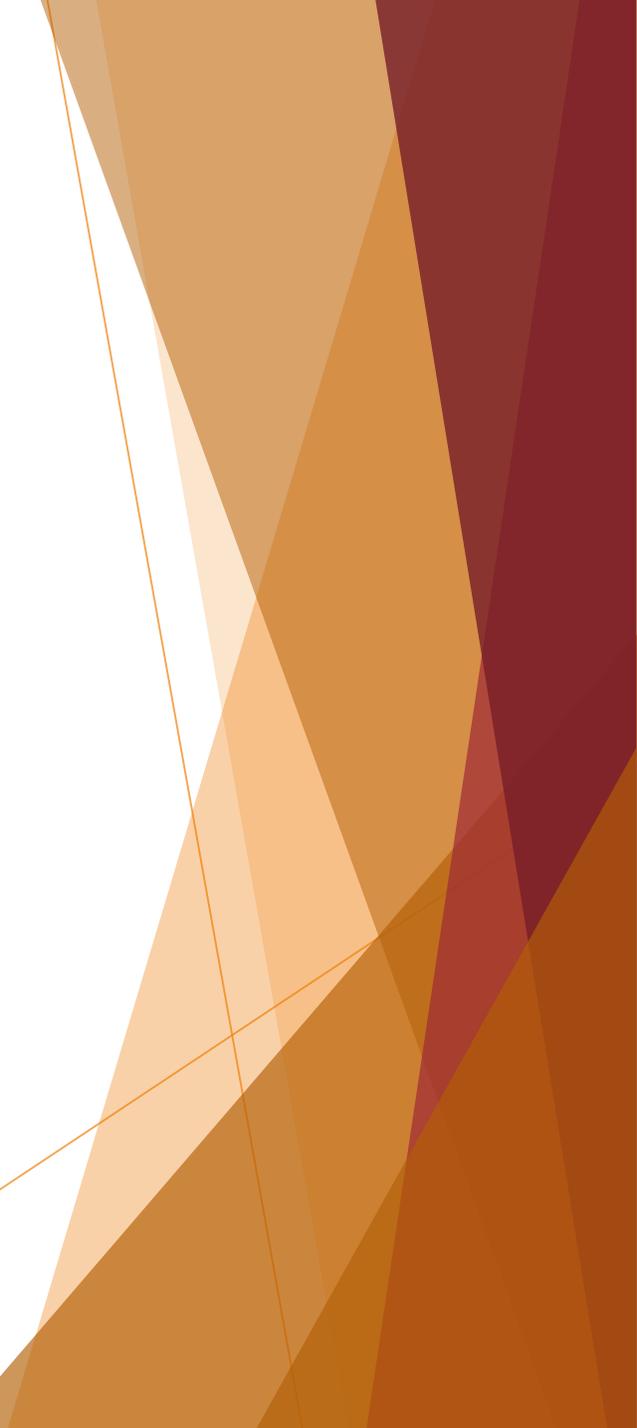
新型コロナウイルス感染症対策観光事業者支援事業

～観光事業者等による新型コロナウイルス感染症予防のための取組や、コロナ禍からの回復期を見据えた事業継続のための取組などを緊急的に支援するため、申請者に観光事業者支援補助金を交付したほか、市国際観光協会と連携し、市内の宿泊事業者及び小売店等の支援を目的とした「宝塚宿泊御礼キャンペーン」を実施することで、観光需要の回復や地域経済の再活性化を図りました。～

70,159千円









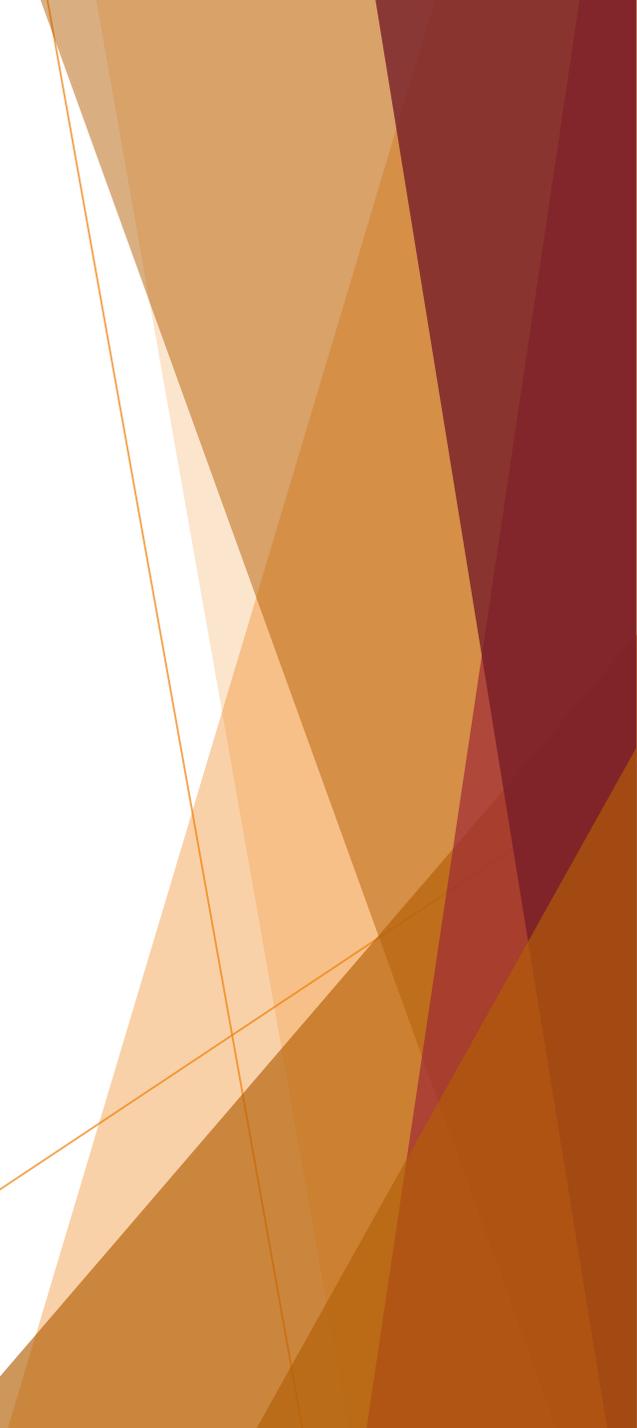
宝塚市立中央図書館

小浜・安倉
分室

火・木・土曜日

10:00~17:00





ご視聴
ありがとうございました。

詳細資料は

宝塚市議会 令和3年 決算特別委員会

🔍 検索



で検索